

今回は 岐阜県道徳教育振興会議 実践発表会 の報告です。

◇ 外部有識者に授業を公開し、本校道徳教育の実践活動を報告しました！

日時： 令和3年12月7日（火）13：20～15：25

会場： 関高等学校桜ヶ丘会館3F 多目的室 及び2年次生各教室

主題： グローバルな視点で地域共創をめざすエシカルリーダーシップの育成

趣旨： 関高等学校では「総合的な探究の時間」を活用し、SDGs実現をテーマとした課題解決型研究を実施している。今回は、2年次生の「総合的な探究の時間」の活動を通じて、探究型の学びと連動した道徳教育の指導に関し知見を深める。

参加者： 岐阜県道徳教育振興会議委員 美濃学区各高校道徳教育担当教員
県内公立高校・特別支援学校教員（希望者） 県教育委員会学校支援課
関高校職員（学校長・研究推進部）

◇ 公開授業

岐阜県道徳教育振興会議委員の方々、関係の先生方をお招きしての研究授業及び事業報告・検討会議を本校で行いました。公開授業の前半は、他のグループに先行して研究成果をまとめた生徒代表によるプレゼンテーションを、後半は各教室での活動を見学していただきました（右写真）。

各教室では、研究成果をまとめるためにグループ活動を行っているところであり、参観者との質疑応答も自由に行われ、生徒の生の声を聴いていただきました。

参観者の方々によれば、「研究テーマは先生が決めるのではなく、自分たちで決めている」「自分たちで調べ始めると、テレビや新聞ではわからなかったことが次々と明らかになった」「1週間の中で一番楽しみな授業だ」など、積極的な意見がどんどんと飛び出したそうです。



◇ 事業報告・検討会議

教科としての「道徳」のない高等学校で、どのようなかたちで道徳教育を実践していけばよいのか。この大きな課題に関し、本校では、「総合的な探究の時間」で行っているSDGs実現に向けた活動の中で実践するとの方針を定め対応することとしました。こうした取り組みに関し、参観者の方々からは、肯定的評価や建設的提言を複数いただきました。また、探究活動の中で道徳教育を実践する本校の取り組みに対しても、具体的な質問や意見をいただきました。

現在、県内の公立高校・特別支援学校では、一斉に「ふるさと教育」が推進されています。地域連携の下、地域の方々と触れ合う中で社会規範や倫理観についての学びを深めることは、きわめて重要であると、委員の方々からもご指摘がありました。本校の地域における立ち位置とも一致する見解であり、今後も、本校では、探究活動の中で道徳教育をしっかりと位置付ける予定です。



会議資料より（生徒制作：LGBTQに関する啓発漫画）